

令和4年度 鹿屋体育大学 社会人選抜 小論文試験問題

スポーツ庁が平成30年に定めた「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」では、「学期中は、週当たり2日以上 of 休養日を設ける。(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする。)」など、活動日数に制限を定めている。しかし、令和3年に日本スポーツ協会が全国を対象に行った調査結果によると、図の通り休養日が週0～1日しかない運動部活動が、中学校で19.3%、高等学校では59.2%であった*。このように、ガイドラインに従った休養日を設けていない運動部活動があるという現状について、その原因と対応策を600字程度で述べなさい。

著作権の関係上、図は省略

出典：日本スポーツ協会「学校運動部活動指導者の実態に関する調査報告書」(2021)、p. 13
(https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/R3_houkokusho.pdf)